

令和6年度 つながる茨城チャレンジフィールドプロジェクト業務委託仕様書

1. 委託業務名

令和6年度 つながる茨城チャレンジフィールドプロジェクト業務委託

2. 業務の目的

本業務は、ローカル志向を持つ東京圏などの人材を「関係人口」として創出し、多様な関わりの中で関係性の深化を図るとともに、「関係人口」と地域が自立的に関わるような事例を広げ、県内各地において関係人口・移住者が受け入れられる仕組みを構築するものであり、本県が別途開設する予定のオンラインコミュニティへの参加促進や、コミュニティ活性化のための話題創発等を図ることを目的とする。

3. 業務の内容

(1) イベント等の実施（県外者のオンラインコミュニティへの参加促進）

○内容

- ・都内で、ローカル志向を持つ東京圏の人材を対象に、市町村と連携した地域資源（企業・人材を含む）を紹介する移住推進・関係人口の創出につながるイベントを開催すること。
- ・セミナー形式のイベントで4回以上開催するほか、その他新たな関係人口の層を開拓するイベントを創意工夫のうえ1回以上開催すること。
- ・イベントの参加者について、継続的な関係を構築するため、県が構築するオンラインコミュニティへの参加を促す工夫を図ること。
- ・当該取組を紹介するホームページを構築し運用すること。

(2) 県内企業と連携した地域課題解決型プロジェクトの実施等（オンラインコミュニティ活性化のための話題創発等）

ア 地域課題解決型プロジェクト（副業プロジェクト）の実施

○内容

(ア) 半年間の協働プログラムの実施

- ・新たに地域課題解決に資する事業を検討している県内企業や地域団体の案件をプロジェクト化し、深度の深い関係人口と協働して地域の課題解決を図るような半年間程度のプロジェクトを実施すること。なお、県内企業や地域団体と深度の深い関係人口との接続については、より継続的に協働していくことが可能な手法（副業の業務委託契約の締結等）を用いること。
- ・関係人口を受け入れる県内企業を15社程度確保すること。なお、過疎地域を含む幅広い地域から企業を確保するよう努めること。
- ・県内企業と関係人口の協働が円滑に進むよう伴走支援を行うこと。
- ・上記業務内容の運営を通じて、関係人口の受け皿となる地域コーディネーターの育成を図ること。

- ・ 県内企業や関係人口に幅広く周知されるよう、当該取組内容を紹介するホームページを企画・制作し、運用すること。また、関係人口が地域とつながるためのイベントや協働の成果を発表する報告会等を開催し、県内企業や関係人口が当該取組の内容を深く理解できる場をつくること。

(イ) 長期プロジェクトの伴走支援

- ・ 県外人材と受入企業の協働による複数年の取組（長期プロジェクト）として実施されている次の2プロジェクトについて、担当コーディネーターを配置し、伴走支援を実施すること。

＜実施されているプロジェクト＞

- ・ 空き家を活用して水辺に集まる人々をコミュニティ化するための場づくりを行い、鹿行地域のにぎわいづくりを図る。
- ・ 新社屋にコミュニティスペースを新設し、異業種交流や親子向けイベントを通じて、茨城の木材の地産地消を促進し、木材産業の活性化を図る。

＜伴走支援の内容＞

- ① プロジェクトの進行に関するコーディネート全般
 - ② 県と人材、受入企業との個別面談の実施（それぞれ月1回程度）
 - ③ 人材の地域における活動の支援（情報発信のサポートを含む。）
 - ④ 人材の活動報告書（月報）等の作成支援
- ・ 上記(ア)(イ)の実施に当たっては、オンラインコミュニティを活用した事業周知や、事業経過をトピックとしたコミュニティ内への話題提供を行うなど、オンラインコミュニティの活性化を図ること。

(3) 地域おこし協力隊の人材育成

○内容

- ・ 自治体の地域おこし協力隊（以下「隊員」という。）の募集のサポートや隊員向けの研修を通じて、ミスマッチを防ぎ、県内で活動する隊員の定住率の向上につなげる。また、希望する隊員や地域おこし協力隊のOB・OG（以下「OB・OG」という。）が関係人口の受け皿となる地域コーディネーターとなり地域のハブとして活躍できるよう、以下の業務を県内のOB・OGネットワークと連携し、企画・運営・管理を実施すること。

① 初任者研修（対象：概ね1年目の隊員、自治体担当職員）

3年間活動していくうえで必須となる、基礎的な知識やスキルを身に付ける研修会を実施。

② フィールドワーク・スキルアップ研修（対象：隊員、自治体担当職員）

県内を開催場所とし、卒業後、定住している隊員等の元へ視察し、地域との関わりを体感するとともに、活動する上で必要なスキルを習得する研修を実施。

③ 協力隊募集相談会（対象：自治体担当職員）

次年度募集を検討する市町村等の募集内容や手法等についてのサポートを個別に行い、ミスマッチを防ぐ。また、希望する自治体に対して、募集内容の設計や発信の仕方の個別対応等を実施。

④ **オンライン・オフラインでのコミュニティづくり（対象：隊員、OB・OG）**

メッセージツール等を活用してコミュニティ化を図り、通年を通じた交流やフォローアップをする。また、オフラインでの交流の場を設けて隊員同士やOB・OGが応援し合える関係を構築。

⑤ **地域コーディネーター育成研修（対象：隊員、OB・OG）**

希望する隊員やOB・OGが関係人口の受け皿となる地域コーディネーターとなり、地域のハブとして活躍できるよう育成する研修を実施。

4. KPI

- ・オンラインコミュニティへの参加者を500名程度創出すること。
- ・地域や地域住民との多様な関わりを持つ関係人口を延べ230名程度創出すること。
- ・オンラインコミュニティと連携し、事業参加をきっかけに本県を来訪等した人を20名程度創出すること。

5. 著作権の取扱

ア 本委託業務の実施による文章、画像、音声その他一切の著作権については、委託者が保有するものとし、受託者が複写、複製その他の方法により他の利用に供する場合は、あらかじめ委託者の承諾を得なければならない。

イ 受託者は、成果品にかかる著作権者人格権を有する場合においても、これを行使しないものとする。

6. その他

ア 業務の実施にあたっては、委託者と綿密な連絡を取り、その指示に従うこと。

イ 不具合等の対応は、本契約期間内は無償対応とすること。

ウ 次年度の受託事業者への引継ぎが必要となった場合は、引継ぎに伴う作業等に協力すること。